

## 登龍門とうりゅうもん

後漢の時代に、李庸りようという政治家がいました。彼は清廉せいれんで正しい政治を行ったので人気があり、学生や新進の官僚たちは李庸の推挙すいきよを受けることを熱望したのです。彼の推挙はやがて、登竜門と呼ばれるようになります。

龍門とは黄河にある地名であり、その急流は大きな魚でも登ることが難しく、無事に登り切った魚は龍になるとい言い伝えがありました。

登竜門という言葉は今に伝えられ、難関を突破し栄誉を得るチャンスを目指すようになったのです。

